

# NOT A HOTEL NASU

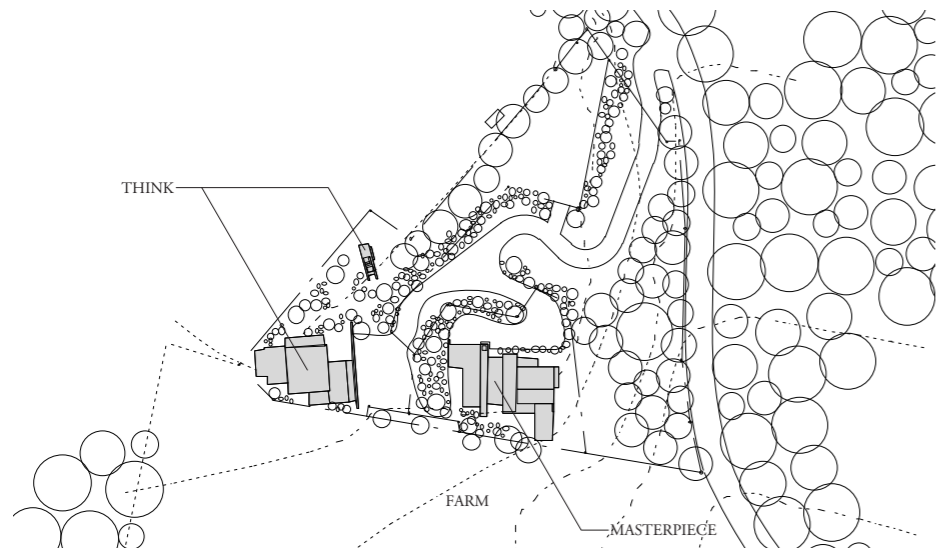
NOT A HOTELは、別荘の所有者が使わない日を一般に解放することで宿泊が可能となり、その瞬間、用途がホテルへと変わるという用途の横断を可能にするシステムと、シェア購入可能な仕組みで建築の所有と活用の概念を拡張している。

本計画は広大な牧場を見下ろす高台に、「MASTERPIECE」と、母屋と離れて構成される「THINK」の計3棟で構成されている。

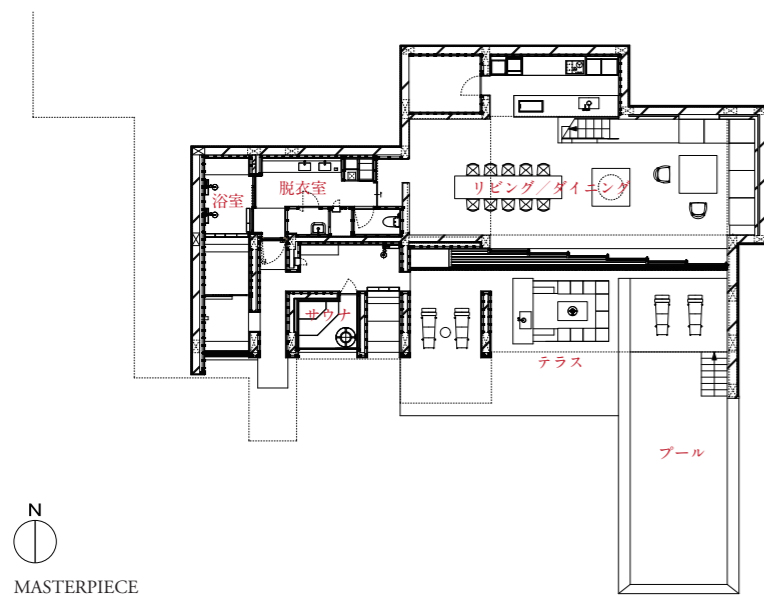
素材やプランは違っていても、共通のルール設定として、雄大な自然に負けない強さと、それでいて自然との共存が必要だと感じ、コンクリートと鉄といった普遍的な材料で建築を彫刻のように扱い設計し、また建築でありながら自然を近くに感じる自然に近い開放感を作るため、壁と屋根のある守られた外部空間を室内と連続させることも、同様に共通のルールとした。

内部においては視界に天井を感じない空間スケールを設定し、大きな垂れ壁を設け、天井裏に向けて暗がりを作り、暗い室内から明るい外を見ることで風景を顕在化させる構成を共通とした。

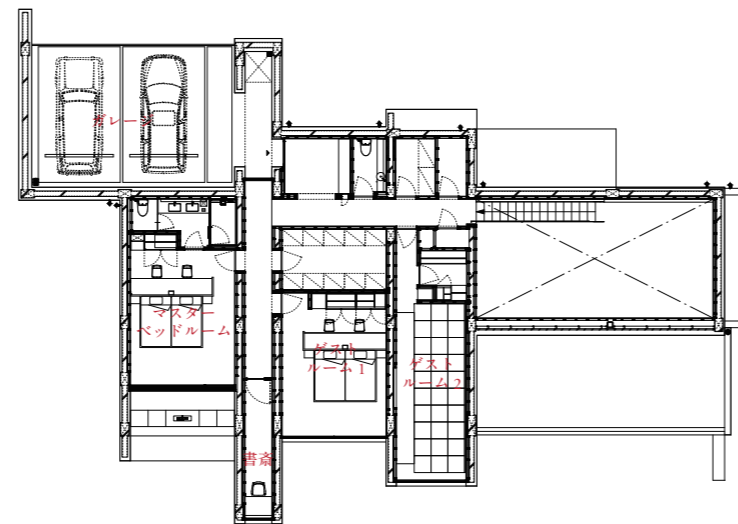
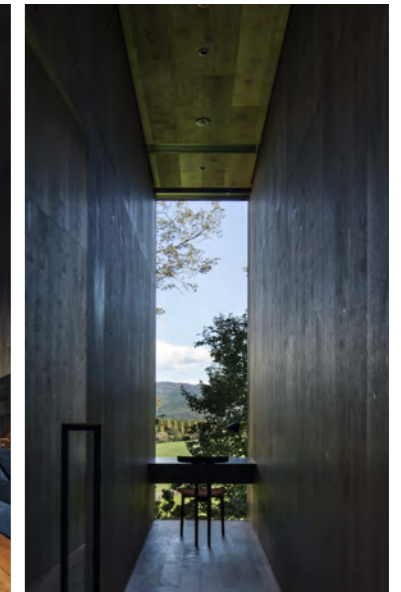
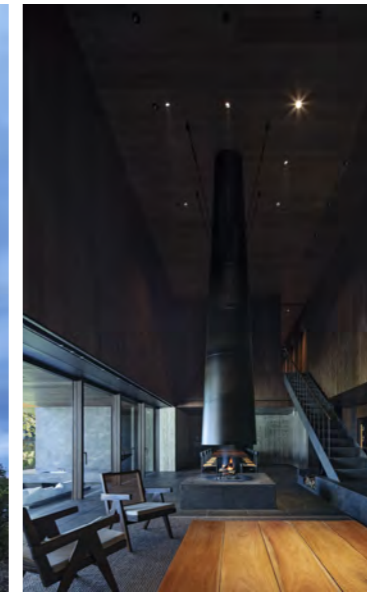
鉄で作られた MASTERPIECE は火を開いた人との関わりを優先した動的な環境、THINK では本を読んだり仕事など、個と向き合う静的環境にプライオリティをおき、各々の大小広狭の多様なスケールによる空間体験が、日常と非日常を融合させ、住宅とホテルという用途を横断できる建築へと昇華させている。



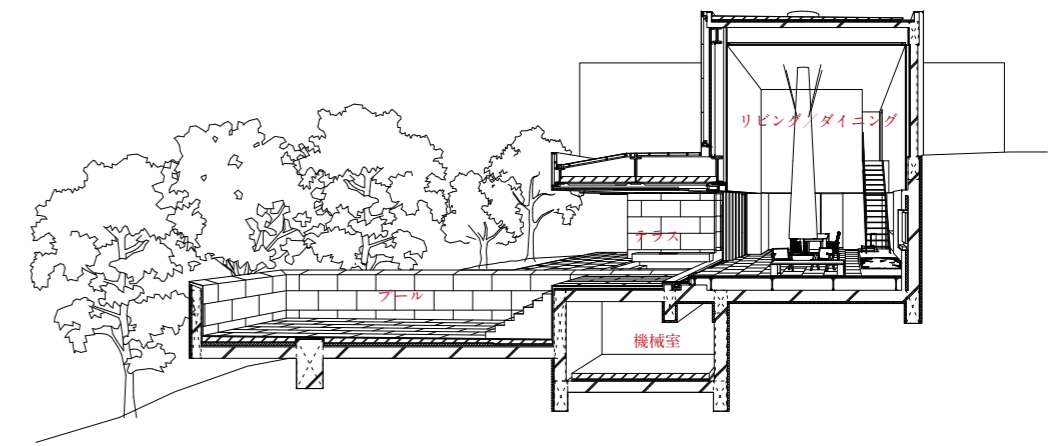
配置図 S=1/2000



MASTERPIECE  
1階平面図 S=1/300



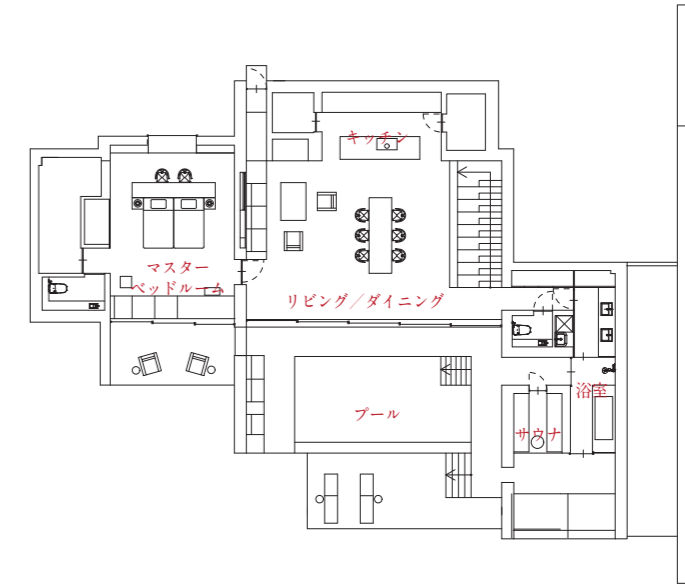
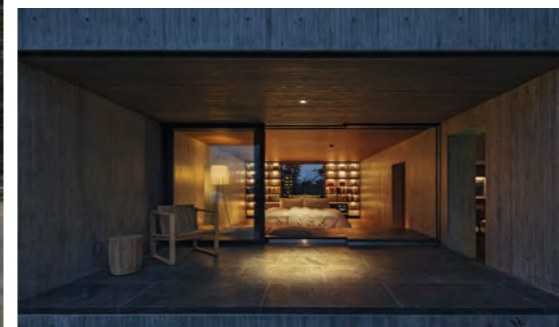
2階平面図 S=1/300



断面図 S=1/200

[建築主コメント]

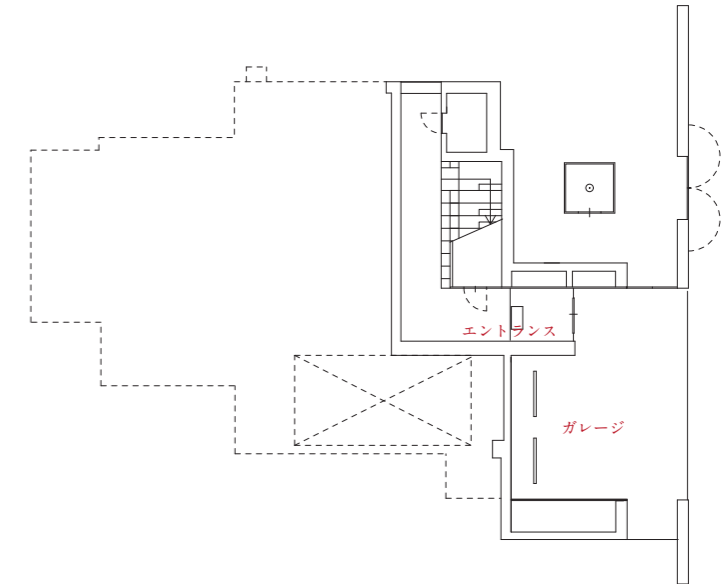
16万坪にたった3棟のヴィラを計画する。客室の前面に広がる美しい牧場に対峙することなく、ただ土地に馴染むだけでなく、この土地と我々だからこそできる今までにない建築を目指してきました。我々 NOT A HOTEL とは、スマホ一つで「自宅」と「別荘」を使い分けられる、今までの建築用途に縛られない新しい暮らしです。意匠性のみではなく、建物内の全ての設備は iPad で操作することができ、機能やユーザーの利便性も追求しております。ソフトウェアをアップデートすることで未来の価値観に暮らしを更新していきます。この凝縮した建築や宿泊体験を作ることができたのは、我々と建築家、施工者が協力して成し遂げた結果だと感謝しております。



2階平面図 S=1/300

[設計者コメント]

当初依頼を頂いたとき、携帯で住まいを買う時代を作りたいという言葉に驚いたが、その時代を作っていく強い意志に共感してプロジェクトをお受けさせていただきました。この敷地に何棟建てるべきなのか、またどれくらいの規模感の建物にするべきなのか、建築主と共に話し合い、検討を繰り返す中で導かれた建築が、Web 販売開始後すぐに完売したことを伺い、NOT A HOTEL の建築と仕組みが時代に受け入れられたように感じました。今後、世界中に NOT A HOTEL が浸透し、住まい方や所有の在り方が変わりゆく新しい時代に、我々も常に設計者としての思考を更新していく必要があると感じています。



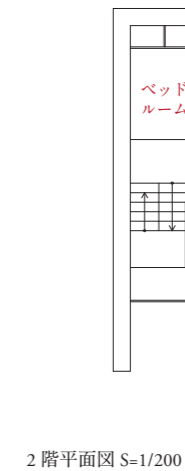
THINK  
1階平面図 S=1/300

[施工者コメント]

最初 設計図に目を通した時は驚きました。3D 的に考えないと建物の形状が見えて来ない事。形状が異なる 3 棟を同時施工となる事。内装・外装共に凝っており内装は棟毎にタイル（イタリヤ製）・黒皮鉄・木板張りを使い分けされており、特に外装はコールテン鋼表わし（ジョイントは溶接後研磨）及び幅 45 mm の杉板打ち放し・板張りの仕上げとなっており、出来上がりは見事なものとなっておりますが、施工段階では少人数で施工図から始まり工期も含めて現場での管理には大変なものがありました。改めて弊社社員を誇りに思える程の建築物でありました。



THINK-hanare-  
1階平面図 S=1/200



2階平面図 S=1/200



3階平面図 S=1/200